

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第477号 平成24年9月



『大賀ハス』 坂本 保己

## 目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	9) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	土屋倫子 … 14
2) 都道府県紹介	坂元 龍 … 3	10) 広報だより	
3) 伝言板	広報部 … 5	2012年 被災地（福島）の現状	松崎 潤 … 15
4) 専門医に学ぶ	小林久晃／大沼一也 … 6	11) 理事会報告	広報部 … 16
5) 第13回会館建設準備委員会報告	小机敏昭 … 8	12) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 20
6) 連載企画		13) お知らせ	事務局 … 22
内服薬の開発	湯田 淳 … 8	14) 表紙のことば	坂本保己 … 23
7) 西多摩医師会 写真・絵画展	写真・絵画部 … 10	15) あとがき	土田大介 … 23
8) 学術部インフォメーション	学術部 … 12		

## 感染症だより

### 〈全数報告〉

第29週(7.16-7.22)から第32週(8.6-8.12)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 14件(肺結核 11件、結核性胸膜炎 1件、頸部リンパ節結核 1件、  
関節結核 1件)

(三類感染症) なし

(四類感染症) なし

(五類感染症) 麻しん 2件、アメーバ赤痢 1件

### 〈管内の定点からの報告〉

	29週	30週	31週	32週
	7.16～7.22	7.23～7.29	7.30～8.5	8.6～8.12
RSウイルス感染症		1	1	
インフルエンザ				
咽頭結膜熱	3	3	1	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	6	4	3
感染性胃腸炎	19	24	21	10
水痘	2	10	4	2
手足口病		2	5	6
伝染性紅斑				1
突発性発しん	4	7	3	3
百日咳				
ヘルパンギーナ	43	50	25	31
流行性耳下腺炎		1		2
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎	1			
合計	89	104	64	59

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉

報告はありませんでした。

### 〈コメント〉

#### ① 管内で麻しん患者の発生が報告されています。

2012年第30週診断の報告が、管内から2例ありました。いずれも乳幼児で、感染の拡大はありません。都内では第31週時点で53例報告(2011年は158例)されています。

麻しんは全数届出疾患であるため、診断した時には保健所へ発生届をお願いします。麻しんと診断された事例のうち、遺伝子検査で陰性もしくは麻しん以外のウイルスが検出される場合があります。そのため、保健所が実施する積極的疫学調査(届出前の診断目的ではありません。)として、医療機関等のご協力も頂き咽頭ぬぐい液等の検査を実施します。

#### ② 風しん患者の急増について、都はプレス発表をしています。

都内での患者数が急増しており、都は6月14日と7月12日に注意を喚起しています。都内では第1週から31週までの患者報告数は236件(2011年は24例)で、流行の中心は予防接種歴のない20～40代の男性です。管内では、第1週から31週までの患者報告数は1件で、20歳代、予防接種歴は不明です。

風しんは、主に咳やくしゃみにより感染します。症状は2～3週間の潜伏期間において、発熱、発疹、リンパ節腫脹などが出現します。基本的には予後良好ですが、風しんに対する免疫を持たない妊婦が妊娠初期に感染すると、先天性風しん症候群の児が生まれる可能性がありますので、十分ご注意ください。

## ③ その他

ヘルパンギーナ患者が、都内では第28週に流行警報の基準を超えたため、都は7月19日に注意を喚起しています。管内では、第26週から患者報告数が増加しており、第30週の定点当たりの患者報告数は「6.25」となり、その後は減少しています。ヘルパンギーナは主に咳やくしゃみ、つばのしぶきによる飛まつ感染や水疱の内容物や便による経口・接触感染をします。そのため、トイレやおむつ交換の後や食事の前には手洗いをしっかりと、タオルの共用は避けてください。

手足口病の定点当たりの報告数は、全国的には増加していますが、都内では2010、2011年のような増加はありません。

インフルエンザが沖縄県で流行しており、第31週の定点当たりの患者報告数は「18.09」です。ウイルス遺伝子の亜型は主にAH3型が報告されています。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

## 都道府県紹介



## 第3回 長崎県

### わたくしの古き良き少年時代

青梅市 坂元医院 坂元 龍



時は、平成20年12月7日(日)西多摩医師会ゴルフコンペ、立川国際カントリークラブのレストランでの昼食時の会話で、三島先生が酒井先生に「酒井先生は出身は何处ですか？ちょっと訛りがあるけん(あるから)聞いてみたけど……」との質問に酒井先生が「ながさきばい(ながさきです)」と答えたのがきっかけでした。三島先生も「おいも(自分も)、ながさきたい!」、坂元も「おいも(自分も)、ながさきよ!」となり、たまたま長崎出身が3人同一パーティにいたとです。なお、このコンペで三島先生がホールインワンしたとです。

「そんなら(それだったら)、長崎県人会ば、せんといかんね(しないといけないね)。」となったとです。ゴルフ幹事の田村先生も幼少時に長崎におったことのある(居たことがある)ということで、田村先生も巻き込んで「ちゃんぽん会(ゴルフとその後の飲み会)ば、やろうか!!」となったとです。それからずっと月一回で続いとつとです。

おそらく、こういう話をどこからか聞いたのでしょうか。わたくしに、長崎のことを書い

てもらえないだろうか?との依頼が突然やってまいりました。「何でもいいですから、好きなことを書いてもらっていいです」ということで、わたくしの40年以上前ののんびりしていた少年時代を書かせていただきます。

わたくしは、長崎県といっても佐世保市の近くの炭坑町であった江迎(えむかえ)という所で生を受け、父親の仕事の関係で平戸へ引越越しし、5歳の時、五島列島の上五島へ行きそこで中学校を卒業するまで過ごしました。上五島の新魚目町上小串(しんうおのめちょうかみこぐし)という所に住んでいました。自宅から海まで約100mで、後ろは番岳(ばんだけ)という標高460mの山になっており、一年中自然の恵みがありました。小学校の校歌に「クジラ潮吹く魚の海……」とあるように、体長12mぐらいのクジラが捕れることもありました。

小学生時代、夏休みになれば、すぐ近くの海へ行き泳ぎます。海といっても磯です。地元では、小学一年生の頃から磯で泳いでいました。砂浜で泳いでいるのは都会から遊びに来ている人たちです。地元の人には砂浜では泳ぎません、獲物がいないからです。当時は水



泳パンツは無く、今でいうところのT-バックのパンツの部分のような水着を履き、水中メガネを着けて泳いでいました。そして、ただ水泳をするということはいしません。みんなそれぞれ、自分の力量に合わせて、素潜りでサザエやアワビを採ったり、泳ぎながら魚釣りをしていました。魚を釣るときのために浮輪を使用するのです。その間に、下級生に火を起こさせ、焚火をさせておきます。そして、採ってきたサザエ（直径10cm位）、アワビ（長径14～15cm位）、それに釣った魚（カサゴ地元ではアラカブなど）をその焚火の中に入れて焼き、そしてみんなでそれを豪快にかぶりついて食べます。これが子供たちのおやつです。磯にいる時間は、午後3時から約2時間ぐらいです。夏休みの間、天気がよく海が荒れていない日は、これの繰り返しでした。

曾根という所では、大潮で引き潮のときなどサザエが石ころを拾うように、“かがり（背負子のようなもの）”を背負い、歩きながら100個～200個採れました。自分の所だけでは食べきれないので、近所の家配って回り、大変喜ばれました。今から思うと嘘みたいな話です。

高校は長崎市内の長崎東高等学校に通いました。初めての夏休みで上五島に帰省した時、お盆に中学校の時の同窓会が綱元の家の大広間で行われました。わたくしはまだ15歳でした。このとき、各人の御膳の上には、お銚子一本とビールが一本が乗っていてびっくりしました。（わたくしの中学校では卒業時9割が就職、そして1割が高校進学といった時代でした。）この会では、ほとんどの同級生が集団就職しており、アルコールにも慣れていたと思われ、みんな普通に酒を飲んでいました。わたくしも勢いで飲んで結構酔っ払い、親に何と言われるかと気にしながら、23時頃帰宅した。そのとき父が一言「おう！今日は帰りが早かったな！」と、声をかけられたのが運のつきとなりました。そこでわたくしは、「オイも（自分も）酒を飲んでよかとばいね（いいんだよね）！」と、勘違いしました。

夏休みが明け2学期です。自分の学力と他

の学生たちの学力とのギャップを痛感させられていて「勉強ではとてもかなわんばい！」と思っていた時、同じクラスにパチンコの上手なのがいて、彼とパチンコ屋通いを始めることとなりました。当時は、手動式のパチンコ台で、左手で玉を入れ、右手でばねをはじくものである。“天四本”の釘の並びや、“チューリップ”への“落とし”の釘の並びも見れるようになった。また、“チューリップ”が開いたとき、そこへ出来るだけ多くの玉を打ちこみ、“チューリップ”が閉じないようにするために、早打ちができるように練習を繰り返しました。

練習の成果も出て、1個玉を打った後、その球が下まで落ちるうちに6個くらい打てるようになりました。（上手な人は8～10個ぐらい）。パチンコ台1台終了させると、約3000円になります。当時の下宿代が一日二食付きで月8000円の時代です。授業が終わると、新大工町にあるパチンコ屋へ向かう毎日である。そうしているうちに、パチンコ屋の玉売りのおばちゃんとも顔なじみになり、終了台をもらえるようになりました。ですから、毎日100円の投資で3000円稼いでいたのです。その稼ぎで、お菓子を買ったり、両切りの洋モクである PALL MALL（国産のhi-liteが80円の時これは220円）を1カートン買ったり、サントリーブランデー VSOPを買って意気揚々と下宿に帰り、みんなにふるまうのです。

夏、長崎三菱造船所で花火大会があるときには、市内の高台にある立山公園へ行き、花火を見物しながら友人たちと四人で戦利品のサントリーブランデー VSOP をラップ飲みしたものでした。四人とはいっても二人はあまり飲めないで実質二人でボトル一本空けていたのです。当時、ブランデーはなんと甘いのだろうと思っていました。「こりゃ（これは）、酒じゃなか（酒ではない）！」

そんなことばかりやっていたものですから、高校卒業10年後の同窓会で、3年生の時同じクラスの奴に言われた一言。

「え～っ！わいが（おまえが）、ほんなこと（ほんとうに）医者になったと??？」



# 伝言板

広報部

東京都医師会より原稿依頼がありました。  
ふるって御応募下さい。

## 東京都医師会雑誌 平成 25 年新春随想集 応募規定

### ◇随想、随筆、紀行文について

- ・文字数は、原則として 1,500 字以内でお願いします。
- ・内容については、政治や宗教を離れたものにして下さい。
- ・漢字、仮名ともに現代用語を使用し、差別的表現は一切使用しないようご配慮下さい。
- ・原稿に付随する写真は 1 枚までとします。(印刷はモノトーンとなります)

### ◇俳句、短歌、川柳について

- ・お 1 人、いずれか 5 首、5 句以内でお願いします。

### ◇絵画、書、写真等について

- ・お 1 人、いずれか 1 点として下さい。
- ・キャビネ判以下のサイズの写真にてご提出ください。
- ・掲載サイズは原則、都医雑誌半頁分 (10 × 13cm) 以内となります。

### ◇応募資格

東京都医師会会員であること。

### ◇申込方法

所属の地区医師会を通じてお申し込み下さい。

なお、西多摩医師会の締切日は平成 24 年 9 月 28 日 (金) です。

### ◇東京都医師会ホームページについて

今後、東京都医師会雑誌に掲載した内容を本会ホームページに掲載する予定であります。別紙「東京都医師会ホームページ掲載についての承諾書」をご記入の上、原稿等と併せてご提出下さい。

### ◇その他

- ・原稿の採用、不採用及び記述の訂正は本会編集委員会が行います。
- ・投稿原稿、写真等のご返却いたしかねますのでご了承下さい。

## 専門医に学ぶ 第92回

【症 例】 31 才女性 1 経妊 0 経産

【主 訴】 子宮内胎児発育遅延

羊水過少

【既往歴】 21 才時 卵管出血（保存的療法のみ）

### 臨床経過

妊娠 35 週 0 日 帰省分娩のため、当院産婦人科へ転院し、以後妊婦健診を行う。前医での妊娠経過は順調で高血圧等の異常は認めなかったが、児推定体重は 1768 gram (-0.6 SD) とやや低めであった。当院での妊婦健診でも母体に異常を認めなかったが、児推定体重は小さく、36 週以降推定体重増加は不良であった。38 週 3 日 当科超音波専門外来にて精査を施行。

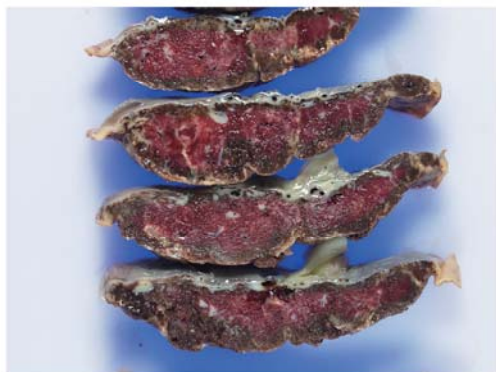
推定体重 2454 grams (-1.5SD)

胎児血流 MCA-PI: 1.38、MCA-RI: 0.73、UmA-PI: 0.87、UmA-RI: 0.59 と異常なし

BPP (Biophysical profile) 評価は、2cm 以上の羊水ポケットを認め、reassuring NST であった、胎児呼吸様運動と筋緊張を認めず、はっきりとした胎動は 30 分間に 2 回以下で、異常と判断されたものの、CST (contraction stress test) を実施したが、negative と判断され、equivocal な結果となった。そのため、自宅で胎動カウント (10 count) を指示し、外来フォローアップとしていた。しかし、40 週時の健診で、羊水量の減少も認めたため、41 週 0 日で誘発分娩とした。oxytocin 投与中、胎児心拍に deceleration などの異常は認めなかったが、分娩進行不良のため oxytocin 投与を中止した翌早朝に、spontaneous に variable and prolonged deceleration が出現し、緊急帝王切開となった。

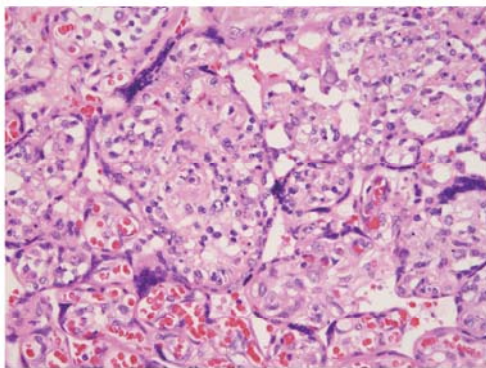
帝王切開時、羊水流出はほとんど認められなかった。出生児は、男児 2152 grams、Apgar 9/10 であった。FGR に加えて胎盤重量も小さかったため、胎盤を病理組織検査に提出した。尚、児は、低出生体重ながらも、呼吸状態良好・安定、また低血糖なども見られず、予定通りの退院となった。

### 病理所見

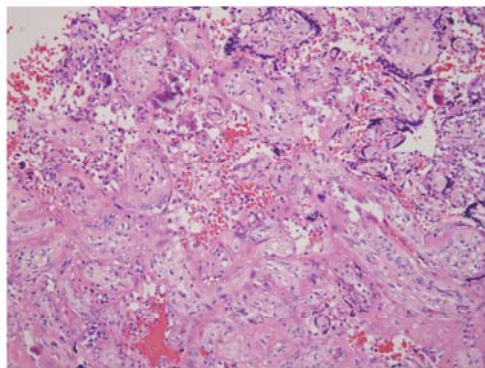


【図 1】

胎盤は、大きさ 15cm × 13cm × 1.5cm、重量 338 grams (< 3 percentile)。胎盤実質、intervillous fibrin deposition と思われる所見が散在し、特に basal plate 直下に顕著であった。また石灰化もびまん性に存在していた (図 1)。臍帯は、49cm × 1.5cm × 1.0cm、three vessel+ で、肉眼的に異常所見はみられなかった。組織学的には、うっ血絨毛密集像があり、病変内には壊死、リンパ・組織球浸潤を示す絨毛集簇巣、間質硬化を示す絨毛群が混在している (図 2)。一部には、胎盤小葉内に向かう絨毛間腔 fibrin 沈着が認められ、石灰沈着も伴っていた (図 3)。



【図2】



【図3】

## 問題

- 1) 診断は？
- 2) 臨床症状・意義は？
- 3) 治療は？

## 解答と解説

公立阿伎留医療センター 産婦人科 小林 久晃／大沼 一也

1) Villitis of unknown etiology (原因不明絨毛炎)

2) Villitis of unknown etiology (以下 VUE) (原因不明絨毛炎) は、リンパ球 + 組織球の炎症細胞浸潤が、主に末端の絨毛間質に見られ、また、炎症細胞集簇が、近傍の絨毛間腔にも広がる、感染などの原因が特定できない胎盤絨毛の慢性炎症疾患である。欧米の報告では、term placenta の 6-14% に見られるとされ、決して希な病態でない。しかし、詳細な、また専門家による詳細な胎盤病理検査を用いなければ診断されることは難しく、見逃されているケースが少なくない。一方、日本での頻度は 2% 程度という報告もあり、民族間差や環境因子などの可能性も指摘されている。

VUE の胎盤は、通常、妊娠週数に比し小さく、健常胎盤に比べ蒼白色様である。病理組織学的には、末端絨毛間質に浸潤しているリンパ球は、母体由来 CD8 (+) T リンパ球であり、病態としては、母体にとって異物と考えられる胎児組織に対する免疫反応と考えられている。一般に絨毛全体を万遍なく冒し、組織球や形質細胞を主体とする感染性の慢性絨毛炎に比し、VUE は、散在性の分布で、通常 5-10 個の絨毛の小さな集簇を冒すとされる。

軽度の場合は別として、VUE は子宮内胎児発育遅延や繰り帰す流産などの重要な原因とされる。胎児発育遅延を呈するものの、妊娠高血圧症や重度妊娠糖尿病などの合併疾患が見られない妊娠においては、VUE の可能性を考慮し、出産後、詳細な胎盤病理検査を施行することが重要と考えられる。特に、高血圧合併でないにもかかわらず、顕著な胎児発育遅延を呈する症例では、VUE を疑うことが必要である。また、VUE が広範・重度で、胎盤内胎児血管をも冒す場合は、新生児脳症や脳性麻痺の発症とも関連するとされる。VUE は、通常 term placenta に発症する病態であるが、早期におこる事例も報告され、その場合、早産や子宮内胎児死亡とも関連するとされる。VUE が次回妊娠などに再発する率は、約 10-25% と比較的高い。再発例では、胎児発育遅延が重度となる可能性の危険が指摘されている。

3) VUE は前述したように、分娩後の詳細な胎盤病理検査によって診断される病変であり、確立された治療はない。しかし、再発例において、習慣性流産、不妊症発症の可能性に対して、ステロイドや免疫グロブリンなどの予防投与がされることがある。



## 第 13 回会館建設準備委員会報告

委員長 小机 敏昭

日時：平成 24 年 7 月 31 日（火） 午後 7 時 45 分～9 時 15 分

場所：西多摩医師会館

出席委員：松原、真鍋、野本、蓼沼、山川、小林、小机

欠席委員：田坂、川辺、田原、西村 （敬称略）

第 12 回委員会に引き続き「基本設計」つき検討、今回は前回検討した第 1 案と当日提出された第 2 案の比較を行ないました。事務室の機能面、1 階中会議室・書類保存庫・応接控室・給湯休憩室・2 階会議室（セパレート使用可）・倉庫・便所の広さと配置等につき比較検討の結果、第 1 案が優れているとの結論が得られました。本日の議論で出た改善点をもう 1 度各設計士に提案し、次回委員会で基本設計を最終決定することになります。

今後基本設計が決りますと実施設計に約 3 ヶ月、許認可と工事事業者の入札に約 1 ヶ月、着工から竣工に約 6 ヶ月、外構工事に約 1 ヶ月かかるとのことで、順調に行って 11 ヶ月後に新会館完成ということになります。

新会館は歴代の会員の皆様からお預りした貴重な資金で建設するものです。先生方お一人お一人が建設過程からわくわくする様な、期待にそえるような新会館の完成をめざして行きたいと考えています。

次回委員会は 8 月 29 日（水）午後 7 時 45 分～、西多摩医師会館で開催いたします。

### 連載企画



## 内服薬の開発

青梅市 ゆだクリニック 湯田 淳

われわれが日常臨床で使用している薬剤の中には臨床使用に至るまでの過程が非常にユニークで興味深いものがある。例えば、①民間伝承により経験的に古代から使用され、現代になってその詳細が解明されたもの、②偶然に発見されたもの、③綿密な疫学的調査の結果、合成されたものなどである。

①の代表的薬剤は強心剤のジギタリスである。1775 年、スコットランド人医師ウィリアム・ウィザーリングは全身浮腫の患者（おそらく重症心不全だった）を診察した。当時の医学レベルでは治療法はなく、この患者はまもなく死に至るだろうと彼は判断した。しかし、数週間後、この患者が回復し、元気になっていることを知り驚愕した。調べてみると、この患者は地元の民間療法師を訪れ、秘伝の生薬を与えられ、これを内服したことにより回復していたことが判明した。彼が調べたところ、この生薬は 20 種類以上の薬草を配合したものだだった。偶然にも彼は医

師でありながら植物学も学んでいたことからその20種類以上の薬草の中でジギタリス (*Digitaris Purpurea*) が強心作用を有するジギトキシン (*Digitoxin*) を含んでいることにすぐに気が付いたといわれている。その後、彼はジギタリスの効用、薬用部位、適量等を科学的に特定し、現代の心不全治療薬として導いた。

② の代表的薬剤はペニシリンである。1929年、イギリス人のアレクサンダー・フレミングにより偶然発見された。彼はブドウ球菌の培養実験中にコンタミネーションにより生じたアオカビ (*Penicillium notatum*) のコロニーの周囲に阻止円 (ブドウ球菌の発育が阻止される領域) が生じる現象を見つけ、アオカビが産生する物質がブドウ球菌を溶かした (殺菌した) と考えた。そこでこの物質をアオカビの学名にちなんでペニシリンと名付けた。実際にはブドウ球菌の殺菌ではなく、発育阻止によるものであった。その後、研究が重ねられ、1940年に H.W. フローリーと E.B. チェインがペニシリンの単離に成功した。翌年には抗菌剤としての効果が確認され、1942年にはベンジルペニシリン (ペニシリン G) が単離されて、実用化された。ペニシリン G により、第二次世界大戦では多くの負傷兵が重篤な感染症から救われた。これらの功績により1945年にはフレミング、フローリー、チェインにノーベル医学・生理学賞が授与された。現在までにペニシリンの種々の誘導体 (ペニシリン系抗生剤) が開発され、われわれもその恩恵にあずかっている。

③ の代表的薬剤は EPA (エイコサペンタエン酸) である。1975年、デンマーク人医師ダイアベルグらはデンマーク領グリーンランドでの疫学調査の結果、海藻類を主食とするグリーンランドのイヌイット族の人々が隣国に住むデンマーク人に比し、虚血性心疾患等の血栓性疾患罹患率が極めて低く、血清脂質も低値を示したと報告した。(調査には4-5年を要した) デンマーク人が動物性脂肪を摂取していたのに対し、イヌイット族は魚 (特に青魚) やアザラシから脂肪を摂取していた。さらにバングらはイヌイット族の血中に不飽和脂肪酸 (n-6系⇒リノール酸、アラキドン酸、n-3系⇒ $\alpha$ リノレン酸、EPA、DHA) の中でも EPA が極めて高濃度に存在し、逆にアラキドン酸が極めて低濃度であることを突きとめた。そこで EPA と虚血性心疾患、血栓性疾患の関連性が注目されるようになった。日本でも1981年に水産会社 (EPA はイワシに多量に含まれる) と製薬会社が共同で高純度の EPA 精製に成功し、抗高脂血症薬、血栓予防薬として開発され、現在、繁用されている。最近では EPA と冠動脈疾患との関連性について大規模なコホート研究が行われ、その結果、EPA 製剤は高リスクの高 LDL 血症患者にはスタチン製剤に加えて使用することが有効であると明記されている (動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版 参照)。

今回、われわれが日常臨床で使用する内服薬の中で開発使用にいたるまでの経緯に興味深い3剤を取り上げ、調べてみた。これら3剤以外にもその開発過程において、興味深い薬剤がたくさんあると思われる。最近では様々な合成方法を駆使して、より少量で、より効果的な内服薬が日々、開発されている。しかし、そのほとんどがコンピューター上で構造式が作成され、化学合成により作製されたものが多いような気がする。今回、取り上げた3剤は日常診療において頻用されているが、これらが先人たちの注意深い観察力や洞察力、長年にわたる地道な調査を礎に開発され、現在もなお、様々な疾患の予防や治療に役立っていることは非常に素晴らしいことであり、興味深いことである。

## 西多摩医師会 写真・絵画展

恒例の西多摩医師会 写真・絵画展が7月18日～24日まで、羽村市生涯学習センターゆとろぎ展示室で開催されました。

写真が趣味の方、興味のある方は是非医師会事務局か部員(本号出品者)までご連絡ください。

部長 松原 貞一 (TEL 042-554-2427)



**日蝕** 松原貞一  
5月21日出勤前、超忙しい朝でした。



**古民家と新車** 稲垣壮太郎  
五月の新潟県荻ノ島、田起こし中の田んぼに新車の耕耘機がおりてありました。背景の古民家との対比も面白く感じて撮りました。



**カトレア、マキシマ** 森本 晋  
中南米産の原種カトレアです。リップにはいった赤いスジがとてもきれいです。



**アカタテハ** 坂本保己  
初夏の陽だまりで羽休み。石垣の少し高い所でアチラ、コチラと飛び移るのでシャッターチャンスに難儀しました。オリンパスOM4、レンズはTAMRON SP90mm Macro F/2.8。



**木陰の二人** 西成田 進  
同意を得ていないという意味では隠し撮りですが、異国のことですので。関係熟成中。まだちょっとよそよそしい。



**佐用姫像(唐津市)** 真鍋 勉  
古代、朝廷の命を受けた青年武将大伴狭手彦は、朝鮮半島の任那、百済へ向う事になり、その夫を見送るため、佐用姫は鏡山に駆け登り、軍船にむかって手をふる……。台風一過の空に手をふる佐用姫像。



**Flowers in the garden** 田村啓彦  
白い花群を背景に、一人静かに咲く薄紫の花を、中望遠を開放にして近付き、撮ってみました。



**豊穣** 古川朋靖  
秋、ブドウ棚のそばに豊穣を祈る地神が、祀られています。たわわに実るブドウと彼岸花に心惹かれました。



日蝕 松原 貞一



古民家と新車 稲垣 壮太郎





カトレア、マキシマ 森本 晋



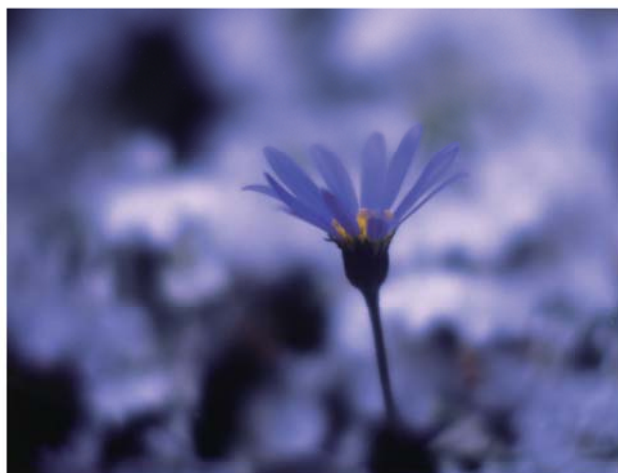
アカタテハ 坂本 保己



木陰の二人 西成田 進



佐用姫像（唐津市） 真鍋 勉



Flowers in the garden 田村 啓彦



豊穰 古川 朋靖



## 学術部 Information



7月3日(火) 福生病院多目的ホールにて、症例発表講演会がありました。福生病院放射線科の古寺研一先生から『MRIの基礎知識』、福生病院内科の内藤景子先生から『外来インシュリン導入法について』の発表がありました。(学術部)

### 『MRIの基礎知識』

公立福生病院 放射線科 古寺 研一

MRI(磁気共鳴画像)とは、核磁気共鳴現象を用いた画像検査である。核磁気共鳴現象はすべての磁気モーメントを持つ原子核で起きる現象であるが、現在のMRIでは $^1\text{H}$ (プロトン)を対象としており、水と脂肪のプロトンのみが画像化されている。蛋白質、炭水化物、アミノ酸などに含まれるプロトンからの信号は受信できない。

MRIの撮影法には種々のものがあるが、Spin Echo法が基本である。Spin Echo法では反転パルスにより磁場不均一性を補正しているため、TE(エコー時間)およびTR(繰り返し時間)を変えることによりT1強調画像およびT2強調画像を撮影することができる。

病変部は一般に水分が多く、T1強調画像で低信号、T2強調画像で高信号になる。このような場合にはspecificな診断はできないが、T2強調画像で低信号の場合やT1強調画像で高信号の場合にはspecificな診断が可能になる。

病変部がT2強調画像で低信号のものとしては、水分の少ない病変(筋腫、線維腫、腺腫など、線維化や石灰化がある場合)、T2が短縮している場合(血腫など)があげられる。

T1強調画像で高信号の病変には、脂肪を含むもの(脂肪腫、奇形腫など)、常磁性体を含むもの(血腫など)、粘度の高い液体(高蛋白液、ムチンなど)がある。このような場合には選択的脂肪抑制撮影を行うことにより鑑別診断が可能になる。

MR Hydrographyは強いT2強調画像であり、静止した自由水を画像化する方法である。MRCP、MR Urography、MR Cisternographyなどに応用されている。

拡散強調画像は水分子のブラウン運動を画像化するものであり、拡散が制限されているところが高信号になる。新鮮脳梗塞の診断に重要な検査であるが、細胞密度の高い組織も高信号になるので腫瘍の診断にも応用されている。

動いている物質は、Spin Echo法ではFlow Voidにより低信号になるが、Gradient Echo法ではFlow Related Enhancementという現象により高信号になるが、これを利用して血管像を得るのがMR Angiographyである。

造影剤は常磁性体であり、常磁性体効果という現象によりT1もT2も短縮する。濃度が低いとT1短縮により信号強度が増強されるが、さらに高濃度になるとT2短縮効果により信号が低下することに注意する必要がある。



## 『外来インシュリン導入法について』

公立福生病院 内科 内藤 景子

近年、超速効型や持効型インスリンの登場により、より安全にスムーズにインスリン導入を行うことができるようになり、外来でインスリンを導入する例が増えてきました。今回、当院における外来インスリン導入例について述べさせていただきますと思います。

症例は、平成21年8月より平成24年4月までに当院内科外来においてインスリン導入を行った28例です。内訳は、3例が術前コントロール目的、6例が他疾患にてステロイドを服用し高血糖になった例、19例が糖尿病の治療過程において血糖コントロール不良にてインスリン導入となった例です。今回、主にこのコントロール不良19例について述べたいと思います。

年齢は31歳～70歳とばらつきがあり、平均は53歳でした。罹病期間については、今回初めて糖尿病と診断された高血糖例や30年の罹病期間の方など様々でした。

19例中17例が導入時に経口血糖降下薬を使用しており、全例がインスリン導入後も内服を続行しました。併用した薬剤は、SU薬14例、DPP-4阻害薬8例、ピグアナイド薬5例、 $\alpha$ グルコシダーゼ阻害薬5例でした（重複あり）。

開始時のインスリンは、19例中18例が持効型（全例グラルギン）の1回打ちで、開始単位数は4～6単位でした。他の1例は二相性インスリン2回打ちでした。

3～6か月後のHbA1cの経過ですが、中断例や開始間もない例を除いた15例において、改善している例が13例でした（図は略）。

3～6か月後のインスリン製剤と単位数については、インスリンの種類が変更になった例は15例中4例ありました。

開始後、自己血糖測定値をみながらインスリン量を調節していきましたが、インスリン量が10単位以上に増量された例は12例、そのうち15単位以上の例は5例でした。殆どの症例でインスリンは少量で導入し、その後血糖をみながら徐々に増量していました。

考察) 現在外来におけるインスリン導入法として、BOT (basal supported oral therapy)、二相性インスリン2回注射、超速効型インスリン3回注射 などの方法が用いられることが多いです。BOTは、経口血糖降下剤と、持効型または中間型インスリン（基礎インスリン）を併用する方法で、当院でも導入方法は殆どこの方法で行っていました。BOTの特徴として、①1日1回注射でよいので導入しやすい。②低血糖の頻度が少ない。③効果不十分な場合、次のステップに移りやすい。などがあげられています。今回の19例の症例でも、導入時インスリン量を少なめから設定していたこともあり、導入早期の低血糖は認められませんでした。

また、BOTの次のステップとして、basal plus(基礎インスリン+1回～2回の追加インスリン)、basal bolus (基礎インスリン+3回の追加インスリン) と呼ばれる方法が提唱されています。

最近の研究より、日本人の2型糖尿病は多くが進行性のインスリン分泌不全であると考えられてきており、病歴が長くなればなるほどインスリン分泌能が低下し、経口血糖降下剤のみではコントロールできない患者さんが増加するといわれています。近年インスリンの種類が増え、外来でよりスムーズにインスリン注射の導入ができるようになってきています。糖尿病の患者さんを診ていくうえで、血糖コントロールの状態や合併症、インスリン分泌能などを考慮しながら、機を逃さずにインスリン導入を開始することが望ましいと考えます。

(2症例の症例提示は省略致しました。)



## 『糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

今月のメッセージは検討会委員である、高村内科クリニック 管理栄養士の土屋倫子先生  
にお願い致しました。

### 西多摩医師会館での糖尿病教室について

既刊の西多摩医師会報でお知らせしておりますが、今年度の西多摩地域糖尿病医療連携  
検討会の事業の一つとして西多摩医師会館で糖尿病教室が開始されました。以下教室の目  
的、開催日、第1回(6月28日)、第2回(7月26日)を実施した状況、参加者の感想  
などです。先生方のもとに通院中の患者さんにも是非ご紹介いただき、参加を薦めていた  
だけますようお願い申し上げます。

#### 本教室の開催日程と目的

開業医の先生方のもとに通院中の糖尿病患者さんを対象とし、医師・管理栄養士・運動  
指導士などが糖尿病についてわかりやすくお話しします。開催は毎月第4木曜日午後2時  
から3時です。

教室では、病気・食事・運動など、糖尿病全般についてわかり易くお話しします。それ  
により、患者さんの病気への理解が深まり、食生活や食事内容が改善され、日常の運動量が  
増え、患者さんの良好な血糖コントロールとQOLの向上、合併症の予防などを目指します。  
なお、今年度中は、食事や栄養に関する教室を継続して実施していく予定です。

#### 第1回(6月28日)、第2回(7月26日)内容

第1回では「糖尿病の食事入門」として、糖尿病の食事の基本的なお話や、塩分のこと、  
普段の食事を大切にしてくださいことの重要性を、第2回では「糖質を含む食品」とし  
て血糖にもっとも影響するご飯やパンなどの主食や砂糖・菓子類について取り上げ、お話  
いたしました。

#### 参加された方の感想

参加者からは、「これまで詳しい食事指導を受けていなかったので参加してよかった」  
とか「毎日の食事をもっと大切にしていきます」など好評かつ前向きな感想をたくさん  
いただきました。

#### 先生方へのお願い

本教室の意義は、糖尿病の患者さんが毎月第4木曜日午後2時に西多摩医師会館に来  
所されると糖尿病の病気・食事・運動などについて話を聞くことができるという点です。

糖尿病の食事療法や運動療法は一朝一夕では達成できません。適正な食事、適度な運動  
について伝えるにも、ご本人が自分の習慣や行動を修正するにも時間がかかります。また、  
これらを継続実施していただく上では、病気への十分な理解は欠かせません。今回のよう  
な仕組みの中でこそ、こうした時間を要することが実施可能であると考えます。また、中  
には食事や生活を変えることに抵抗を感じる方もいますが、それは、変える必要性が十分  
に理解されていない場合が多いものです。教室の実施回数が何回になっても、初めて参加  
された方が、こうした必要性をご理解いただけるよう基本事項は繰り返しお話ししていく予

定であります。先生方のもとへ糖尿病で通院中の患者さんに、この教室への参加を促していただきますことは、その方の療養生活を良好にする上で大変重要なことと考えます。こうした趣旨をご理解いただき、是非、患者さんにこの教室をご紹介ください。よろしくお願いたします。

配布資料準備の都合上から、はじめて参加される方はできるだけ電話にてお申し込みの上、ご参加くださいますようお願いください。

医師会より、掲示用の A3 版のポスターを月初めの袋詰めに入れて配布いたしますので院内に貼ってご利用ください。

上記の申し込み・お問い合わせ先：西多摩医師会 電話：0428 - 23 - 2171

## 広報だより



### 2012年 被災地（福島）の現状

羽村市 双葉クリニック 松崎 潤

実家が福島のため、週末に帰ることが多い。2011年3月11日の東日本大震災後、東北自動車道が走行可能となつてからの帰郷時、震災直後は走行時の上下動が激しい区間が所々にあったが、現在はほぼ、震災前の状況に戻っている。実家は比較的、被害の少ない地域であったが、近隣の家々の屋根は、屋根瓦などの供給が間に合わずブルーシートで覆っただけの屋根が目立ったが、現在はほぼ通常の屋根に復旧している。

地震に関しては頻度は減っているが、微動な揺れであっても関東で感じるものとは異質な揺れに感じる。実際にあの独特な揺れを体感すると、常にその状況におられる方々が内耳系（前庭や半規管）の異常（眩暈やふらつき等）を訴えることが多いということが納得できる。

原発放射線被害に関しては、妹が郡山（原発事故現場に近い市）に住んでおり、一時は子供達を我が家に一時避難させるかとの話も出た。しかし、現在も家族で同地に住んでいる。幼い子供達は、まわりの子供達が他地域に避難し、徐々に減っていくのを理解できず、また地震の影響も含め、少なからず精神面のストレスを感じていると思われる。また、風評被害の面では、妹が嫁いだ寝具店においても取引のあった周囲の温泉旅館の廃業による影響があり、多方面にその直接的あるいは間接的影響があることを再認識させられた。都医師会の先生が書いておられた原発に関する文章（都医ニュース Vol. 544号）では、放射能被害のない福島県いわき市には県内避難者のほかに、工事関係者が多数滞在しているため、宿泊施設・居酒屋・遊興施設などが繁盛しているそうである。

どのような形であってもゆっくりとではあるが復興への歩みは進んでおり、被災地の方々の前向きで真摯な復興への気概が感じられる。

# 理事会報告

★ Information

7月定例理事会

平成24年7月10日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：横田・鹿児島・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・小林・西成田・朱膳寺・奥村・大堀・中野〕

## 【1】報告事項

### (1) 各部報告

総務部 6月28日 糖尿病栄養指導教室を西多摩医師会館で行った  
 福祉部 7月9日 「納涼の夕べ」をフォレストイン昭和館で行った  
 学術部 11月17日 秋の市民講座を予定  
 学校医部 羽村市学校保健会・福生市学校保健会を行った

### (2) 地区会報告（各地区理事）

青梅市 6月28日 青梅市 CKD ネットワークを開催  
 福生市 7月9日 理事会  
 7月31日 総会  
 羽村市 7月7日 例会  
 あきる野市  
 瑞穂町 7月17日 自治体とポリオについて話し合い  
 日の出町

### (3) その他報告

東京都医師会第10回勤務医委員会（7月2日 進藤 晃 委員）  
 勤務医負担軽減の具体策について  
 「勤務医の労働環境の問題点と改善策」及び  
 「患者対応の問題点と対応策について」のアンケート結果も踏まえて

## 【2】報告承認事項

(1) 入・退会会員、会員変更について — 承認 —

(2) 機能強化型在宅療養支援診療所・病院に関するアンケート調査  
 東京都医師会への回答について — 承認 —

(3) 青梅市福祉事務所からの「情報提供書」を会員宛てに配信する件  
 情報は、個人情報を含むものであり、その取り扱い等については顧問弁護士の意見を聞くこととされた — 承認 —



**【3】協議事項****(1) 「土地売買契約書」(会館移転用地)の契約について** — 可決承認 —

青梅市から、土地売買契約書(案)が提示され、契約締結することとした。

所在地	青梅市東青梅1丁目167番12
地目	宅地
地積(m <sup>2</sup> )	720.55
売買金額	90,000,000円

**(2) 不要になった水銀血圧計・体温計の自主回収について** — 可決承認 —

不要になった水銀血圧計や水銀体温計の廃棄は通常の医療廃棄物とは異なり個別に水銀を扱える業者に処理を委託しなければならない。東京都医師会が行う自主回収に参加するか協議し、参加することとした。

**(3) 精神疾患早期発見・早期対応推進事業の実施について**

資料によりその実施について協議したが、今年度は見送ることとした。

**(4) 平成24年度東京都在宅医療相互研修事業の実施に伴う研修の開催依頼について**

— 可決承認 —

資料により事業の内容が説明された。川口理事より開催したい旨の意見あり、協議の結果、当該事業に申し込むこととした。

**(5) 平成24年度東京都医療連携強化研修事業の実施に伴う研修の開催依頼について**

— 可決承認 —

資料により事業の内容が説明され、前年度の実績が紹介された。今年度も、該当するものについて申し込むこととした。

**(6) 平成24年度在宅医療等相互支援体制構築事業の実施及び事業計画書等の提出について**

— 可決承認 —

資料により標記事業の実施及び提出する計画書(案)について協議した。在宅医療連絡会で検討のうえ、実施申し込むこととした。

**【4】その他**

当会所属医療機関における結核患者集団発生について情報を入手し、情報の内容によっては、対応等の必要性について検討することとした。

〔出席者：横田・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・近藤・小林・西成田・朱膳寺・安部・奥村・大堀・中野〕

## 【1】報告事項

### (1) 都医地区医師会長連絡協議会

#### I 都医からの伝達事項

#### 1. 日本医師会第1回都道府県医師会長協議会における質問事項

「予防接種法のあり方」について

平成24年5月23日に提出された予防接種制度の見直し（第二次提言）にあるように、新たにヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチンの3ワクチンだけでなく、水痘・流行性耳下腺炎・成人用肺炎球菌・B型肝炎の4ワクチンも定期予防接種化されるべきと考えます。

定期予防接種は、国民のためのワクチンと位置づけ、全国一律に国の責任の下で実施されるべきと考えます。

日本医師会としても、7つのワクチンの定期接種化、財政的な支援だけでなく、予防接種事業のあり方も含めた予防接種法改定に向けて、国に要望していただきたい。

#### 2. 都内における風しん患者の急増に係る情報提供等について

東京都福祉保健局より、都内において風疹患者の報告が急増しており、職場・学校・家庭等における感染予防、周囲への感染拡大を防止のための注意喚起等について受診患者・関係者に対し情報提供をしてほしいとの要望があった。

#### 3. 予防接種ダブルチェック表の使用と不適切接種時の対応について

各種予防接種にあたり、「医師と看護師による予防接種ダブルチェックリスト」で各項目を確認する。万が一、不適切な予防接種が起きた場合には、迅速な対応が必要であり、以下のとおり実施する。

- ・「調査票兼報告書」により地区医師会事務局に報告する。
- ・行政との協議
- ・地区医師会は会員に対し注意喚起を促す通知をする。

#### 4. 不活化ポリオワクチンに関する要望書の提出について

接種費の負担増が懸念され、横倉会長よりサノフィパスツール株式会社の代表取締役社長に要望書を手交し、定例記者会見において本件を公表した。

#### 5. 東京都医師会学校医会の会員数について

#### 6. 産業医活動及び産業保健に関するアンケート調査の実施について

7. 地域産業保健センターメーリングリスト（平成 24 年度）の作成について
8. 東京都医療・介護連携型サービス付き高齢者向け住宅モデル事業  
平成 24 年度第 2 回事業者公募の実施について
9. 医療従事者のためのセクシャルハラスメント講習会の開催について  
日時 平成 24 年 9 月 8 日（土）  
場所 東京都医師会館 4 階講堂  
対象 地区医師会役員（医師）
10. 東京都医師会生涯教育委員会「地域保健活動を評価・認定するシステム」についてのアンケートのご協力・ご依頼について
11. 水銀回収の件

## II 地区医師会からの報告

1. 中央ブロック（当番：小石川医師会）
2. 城東ブロック（当番：江東区医師会）
  - ① 肺がん検診のデジタル化移行について（江戸川区医師会）
3. 城西ブロック（当番：目黒区医師会）
  - ① 中野医療フォーラム・医学会について（中野区医師会）
  - ② 地域包括支援センター協力医について（中野区医師会）
4. 城南ブロック（当番：大森医師会）
  - ① 第 4 回大田区医学会開催の報告について（大森医師会）
5. 城北ブロック（当番：練馬区医師会）
  - ① 板橋区感染防止対策カンファレンスについて（板橋区医師会）
6. 多摩ブロック（当番：西多摩医師会）
  - ① 税務監査報告について（三鷹市医師会）
  - ② 多摩医学会講演会講演概要の掲載について（西多摩医師会）
7. 大学ブロック（当番：東京医科歯科大学医師会）

## (2) 各部報告

特になし



## (3) 地区会報告

## 青梅市

7月12日 学校医・教育委員会・養護教諭との懇談会開催  
プールでのゴーグル着用の徹底を提言

## 福生市

7月31日 臨時総会を予定  
8月22日 福生病院で予防接種説明会を開催

## 羽村市

## あきる野市

7月23日 例会開催  
7月27日 地区三師会を予定

## 【2】 報告承認事項

入・退会会員、会員変更について ——— 承認 ———

## 【3】 協議事項

・ポリオワクチン接種に係る資料の会員への送付について ——— 可決 ———

・「肝臓病 秋川教室」(西多摩地区肝友会) に対する後援名義の提供及び会員へのパンフレット送付について ——— 可決 ———

・平成24年度主治医研修事業講師養成講習会の開催について(依頼)  
今年度については見送ることとした。

## 【4】 その他

「土地売買契約書」(会館移転用地) の契約締結完了について(報告)

7月24日 午後に青梅市庁舎において標記契約の締結が完了したことが報告された。

## 会員通知

- 会報
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 日本医師会主催「第44回産業医学講習会」開催について
- 平成24年度第2期西多摩医師会諸会費請求
- 福生市医師会勉強会のお知らせ(8/22)
- 公立阿伎留医療センター医局講演会(8/27)

- 不活化ポリオワクチン接種について
- ポスター「障(障) 受給者証をお持ちの方へ」及び「乳(乳)子(子) 医療証をお持ちの方へ」の掲示について
- 平成24年10月1日以降の東日本大震災による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて
- 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病

- 予防健診の新規実施機関の公募について  
(情報提供)
- 不要になった水銀血圧計・水銀体温計の自主回収の実施について
  - 健康スポーツ医学講習会申込について  
(11/17, 18, 12/15, 16)
  - 「肝臓病秋川教室」(9/7)

- 健康食品に関する安全情報共有事業について
- 第14回会館建設準備委員会の開催について
- 第6回「在宅医療連絡会」・関する会合開催について (7/28)
- 訃報 (佐野茂男先生)
- 告示 (東京都医師会医道審議会委員)
- 学術講演会 (8/29)

## 医 師 会 の 動 き

医療機関数	215	病 院	30
		医院・診療所	185
会 員 数	553	A 会 員	205
		B 会 員	348

出身校大学 聖マリアンナ医科大学  
平成20年3月卒

### 【退会会員】

氏 名 宮川 栄次 (死亡)  
勤務先 (医社) 大聖病院

氏 名 五味 方樹  
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏 名 峯 佑介  
勤務先 公立阿伎留医療センター

### 【管理者変更】

(医社) 大聖病院  
(新) 宮川 和子  
(旧) 宮川 栄次

### 【廃業】

氏 名 秋山 静夫 (死亡)  
秋山 太津男  
施設名 秋山医院

### 会議

- 8月10日 学校医部会
- 24日 会報編集委員会
- 28日 第6回在宅医療連絡会
- 29日 第14回会館建設準備委員会

### 講演会・その他

- 8月8日 保険整備委員会
- 16日 法律相談
- 23日 糖尿病教室 (管理栄養士による集団教室)
- 29日 学術講演会  
演題：不眠症治療の Up to date  
講師：国立精神・  
神経医療研究センター  
精神保健研究所・  
精神生理研究部  
部長 三島 和夫 先生

### 【入会会員】

氏 名 永藤 裕  
勤務先 公立福生病院  
出身校大学 杏林大学 平成15年3月卒

氏 名 稲岡 峰幸  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校大学 杏林大学 平成15年3月卒

氏 名 武藤 智和  
勤務先 公立阿伎留医療センター

### 訂正とお詫び

平成24年8月号「医師会の動き」  
新規開業の阿部英雄先生のお名前に  
間違いがありました。  
訂正してお詫び申し上げます。

正 阿部 英雄 先生  
誤 安部 英雄 先生

(広報部)

# お知らせ

## 事務局より お知らせ

平成 24 年 10 月 (9 月 診療分) の

保険請求書類提出

**10 月 9 日 (火)**

— 正午迄です —

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克巳先生による法律相談を  
毎月**第 3 木曜日**午後 2 時より実施いたします。  
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日      9 月は 20 日 (木)  
                  10 月は 18 日 (木)
  - ◎場 所      西多摩医師会館和室
  - ◎内 容      医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
                  刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎相談料      無料 (但し相談を超える場合は別途)
  - ◎申込方法    事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 訃 報

あきる野市 佐野内科クリニック

**佐野 茂男 先生**

昭和 28 年 7 月 26 日生 (享年 59 才)



去る平成 24 年 8 月 15 日 ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



## 表紙のことば



### 『大賀ハス』

戦後間もない頃千葉の検見川遺跡で見つかった2000年前のハスの種から大賀博士は花を咲かせることに成功、大賀ハスと名付けられました。その後国内各地で栽培されるようになりその麗姿は何処でも観賞されるようになりましたが、羽村根がらみ前水田の群生は見事で毎年都内からも多くの観光客が訪れて来ます。

坂本保己

## あ と が き



9月に入りロンドンオリンピックの余韻も冷めてきた頃かと思われまます。「参加することに意義がある」とは言っても、連日のようにメダリスト達の華やかなニュースを見ていると、メダルという結果を得たかどうかでこれほどまでに明暗が分かれるのもまたオリンピックだからなのでしょう。前評判のあまり良くなかった男子サッカーが初戦でスペインを破ったときは手の平を返すかのような盛り上がりを見せていましたが、最終的に韓国に敗れてメダルを逃してしまうと選手を非難する声すら見受けられました。代表なのだから当たり前と言われればそれまでですが、結果だけで評価がコロコロ変わるのも可哀想な気がします。

秋になるといよいよ特定健診のピークを迎えます。賛否両論のあった「メタボ健診」も5年目を迎え今年度で第一期が終了しますが、健診や保健指導の実施率が来年度以降の後期高齢者支援金の割合を加減させるとあって保険者も結果を求めるのに必死なのではないでしょうか。健診の受診者が増えることはもちろん望ましいことですが、こちらは参加するだけでなく是非とも結果に対する評価を受け入れてもらいたいところです。前年の健診で要医療となるも放置して悪化している方や、大腸がん検診で要精査となっても精密検査は受けたくないという方を見ると何のための健診（検診）だか分からなくなります。オリンピックでは審判の問題も指摘されていましたが、健診では医師がしっかりとジャッジし受診者はその評価を適正に受け入れて頂ければ、この事業を成功させることは可能だと信じています。

土田大介

社団法人 西多摩医師会

平成24年9月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 奥村 充  
近藤 之暢 鹿児島武志 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝  
土田 大介 渡邊 哲哉 松崎 潤 湯田 淳 進藤 幸雄  
松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993



信頼のヒューマンリレーション。  
医薬品ネットワークが結ぶ、健康への希い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 **東邦薬品株式会社**

〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(3419)7811 (大代表)

診療所向け電子カルテシステム

**Medical Station**  
メディカルステーション クリニック  
CLINIC

**BMLには誇りと実績があります。**

- ★日本全国のお客様をサポートしてます。
- ★全診療科に対応してます。
- ★多彩な入力ツールを用意してます
- ★多くの連動システムに対応してます
- ★オンライン請求に向けたレセ電算化に  
全国で対応可能です。



 **株式会社 ビー・エム・エル**  
BML 埼玉第三営業所  
TEL:049-232-0111